



創立 140 周年

とべだより

平成 31 年 4 月 26 日

5 月号

横浜市立戸部小学校

戸部小が素敵で、あり続けるために

学校長 柳澤 潤



今年のゴールデンウィークは、元号が改まるお祝いの中の大型連休です。戸部小学校は、令和元年5月12日に、創立140年を迎えます。連休明けの新時代のスタートが、創立記念と重なります。学校では、子ども式典、大人式典、祝賀会の大成功に向けて、最終準備をしているところです。

周年事業の一つは、記念誌の作成です。紙面構成のアイデアから、取材や校正作業のすべての過程を、記念誌編集委員会の皆様に携わっていただき、ページ数60ページの見ごたえのある冊子が出来上がりました。式典前日に、完成した記念誌を全家庭に配付させていただきます。本校ならではの行事、生活・総合の取り組み、歴史を学べるもの、関わっていただいた方々の紹介、戸部の好きなど、充実した紙面になっています。140年の歴史と伝統が、伝わってきます。どうぞ、楽しみにしてください。

4月23日には、学校運営協議会をさせていただきました。学校運営協議会は、保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、それぞれの立場で子どもたちの成長を支えていくための仕組みとして、導入されています。戸部小では、保護者・地域の代表者と学識経験者、事務局のメンバーで協議会を行っています。その中でいただいたご意見を以下に紹介します。

- ・行事など、子どもたちの様子を見に来ることが楽しい。心が洗われる思いがする。
- ・1年生で、面倒をかけていた子どもが、高学年になって下級生のお世話をする姿がほほえましい。戸部小は、縦割り（異学年交流）で、子どもが育つようになっている。
- ・戸部小のよいところが、ずっと受け継がれている。また、よさが一層輝くよう努力されている。

このように委員の皆様には、子どもたちの様子をよく見ていただき、学校へ応援していただいています。また、メール配信の活用や、今回の連休のような休みの時の学校への連絡の在り方など、課題についても指摘をいただきました。

・小学1年生の交通事故は6年生の8倍、との統計のデータがある。今年度入学した62名の1年生が無事卒業するまで、在校生全員の交通安全の教育をしつこいくらいしてほしい。子どもは、大人をよく見ている。道路の横断など、大人が見本を見せていかななくてはならない。との、大きな愛情からの切なる願いも伝えていただきました。環境に慣れてきた頃が、一番危ないともいわれています。何よりも大切な命を守ることも「教育」の大切な役割であることを確認することができました。

戸部小は、140年の節目を迎えます。確かな「今」を足場にして、「未来」を切り拓いていくのは、まさに、目の前の子どもたちです。戸部小が戸部小であり続けるために、戸部のよさを継承発展させていくことに、全力を注いでまいります。保護者、地域、関係者の皆様、今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。